



市井 和仁 (Ichii Kazuhito)

博士(理学) (名古屋大学)

略職歴

2002 年 名古屋大学大学院

環境学研究科 助手

2003 年 名古屋大学大学院

工学研究科 助手

2004 年 サンノゼ州立大学地理

学部 助手・NASA エイムズ研究
所 研究員2007 年 福島大学 共生システム
理工学類 准教授**学会活動**

日本リモートセンシング学会

日本気象学会

アメリカ地球物理学会

社会活動

JapanFlux 運営委員

主な担当科目

環境モニタリング

リモートセンシング

環境モデリング

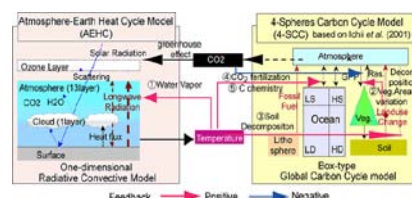
環境モデリング実習

地球環境モニタリング・モデリング

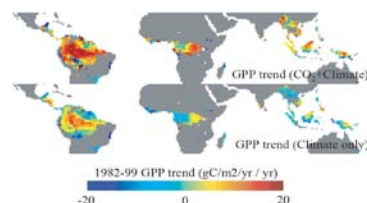
地球観測衛星から観測されたデータと数値モデルを用いて

- (1) 地球システム統合モデルの構築と地球温暖化予測
 - (2) 陸域植生の水・炭素循環変動解析とそのモデリング
 - (3) 衛星データなどを利用した地域環境解析
- を行っている。

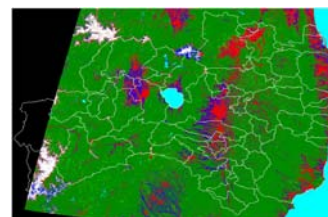
・地球温暖化予測モデルの概要
大気・海洋・植生・地面の相互作用によって将来の地球環境変動が予測される。



・陸域モデルによって推定された過去約 20 年間の熱帯林光合成量の変化。その他日本やアジア域を対象にした研究も行っている。



・衛星データを利用した福島県の環境変動解析。気象観測・衛星観測・モデル解析などの様々な手法を組み合わせた解析を行っている。

**主な研究分野**

1. 地球温暖化将来予測モデリング
2. 陸域生態系水・炭素循環の衛星観測とモデリング
3. 衛星データなどを利用した地域環境変動解析

相談に応じられる分野,テーマ

1. 陸域リモートセンシング(地域～全球スケール)データ解析
2. 陸域植生の炭素・水収支のモデリング
3. 地球システム(主に炭素循環)のモデリング

キーワード

地球温暖化、リモートセンシング、炭素循環、数値モデル、植生

代表的な業績

Ichii et al. (2009) Multi-model analysis of terrestrial carbon cycles in Japan: reducing uncertainties in model outputs among different terrestrial biosphere models using flux observations. Biogeosciences Discussions, 6, 8455-8502.

Ichii et al. (2007) Constraining rooting depths in tropical rainforests using satellite data and ecosystem modeling for accurate simulation of GPP seasonality, Global Change Biology, 13, 67-77.

市井和仁、西田顕郎 (2005) 第 8 章 グローバル植生. 地球観測衛星データの利用 (2) pp.1-24, ERSDAC.